



政策研究大学院大学

これからを 日本の文化戦略の考えるシンポジウム

日時：2024年9月19日（木）17：00～19：00 会場：政策研究大学院大学 想海樓ホール（東京都港区六本木7-22-1）



参加無料

日本語から英語への同時通訳あり

9月11日（水）17時までに以下 URL あるいは QR コードより事前登録をお願いします
（オンライン参加可能です）

https://grips-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_MxYJ_71JRkyFMad_cpxuyw#/registration



■ 開催趣旨

日本には、世界に誇るべき文化芸術が多彩に存在し、魅力あるコンテンツ群が生み出されています。最近、和食から現代アートまで多様な文化資源を地域の魅力につなげる動きも広がっていますが、世界に向けての発信や多面的な活用、産業としての育成には、さまざまな課題が指摘されています。

文化・芸術の価値を生かして地域や産業の活力を生み出し、その成果を活動の担い手に還元し、さらなる価値やイノベーションの創出につなげる仕組みの構築について、この分野の第一線で国内外を牽引してきた産官学のパネリストを迎え、意見を交わします。

■ プログラム

- 16：30 — 開場
- 17：00 — 開会・趣旨説明
- 17：05 — パネル討議
キーノート・スピーチ
文化庁長官 都倉 俊一 氏
- 17：20 — 討論（パネリストは50音順、敬称略）

登壇者 伊藤 博之 クリプトン・フューチャー・メディア株式会社代表取締役
都倉 俊一 文化庁長官（※冒頭キーノート・スピーカー）
鳥井 信吾 サントリーホールディングス株式会社代表取締役副会長
黄 仙恵 城西国際大学メディア学部 / 大学院ビジネスデザイン研究科教授
村山 卓 金沢市長
モデレーター 大田 弘子 政策研究大学院大学 学長



Art by KEI © CFM

初音ミク
HATSUNE MIKU

- 18：55 — 閉会

■ キーノート・スピーカー／パネリスト／モデレーター略歴



都倉 俊一（とくら しゅんいち）
文化庁長官

東京都出身。学習院大学在学中に作曲家としてデビュー、70年代からヒットメーカーとして、日本レコード大賞作曲賞をはじめ数多くの賞を受賞する。世に出したヒット曲数は1,100曲を超え、レコード売上枚数は6千万枚を超える。その他多くの映画音楽、テレビ音楽を手掛ける。2010年には日本音楽著作権協会会長、2011年文化庁文化審議会正委員に就任、2016年アジア・太平洋音楽創作者連盟執行委員会会長を務める。2018年に文化功労者に選出され、2021年4月文化庁長官に就任、現在に至る。



伊藤 博之（いとう ひろゆき）
クリプトン・フューチャー・メディア
株式会社代表取締役

北海道大学に勤務の後、1995年7月札幌市内にてクリプトン・フューチャー・メディア株式会社を設立。DTMソフトウェア、音楽配信アグリゲーター、3DCG技術など、音を発生源としたサービス構築・技術開発を日々進めている。「初音ミク」の開発会社としても知られている。2013年秋の叙勲にて藍綬褒章を受章。2016年情報処理学会にてFIT2016 船井業績賞を受賞。音楽AI開発のオンガラボ株式会社代表取締役、京都情報大学院大学教授を兼任。



鳥井 信吾（とりい しんご）
サントリーホールディングス株式会社
代表取締役副会長

サントリー株式会社（現サントリーホールディングス株式会社）入社後、同社代表取締役専務、同社代表取締役副社長等を経て、2014年より現職。サントリー芸術財団代表理事。サントリー文化財団理事長。大阪商工会議所会頭。ダイキン工業株式会社 社外取締役。



黄 仙恵（ふあん そんへ）
城西国際大学メディア学部 /
大学院ビジネスデザイン研究科教授

韓国放送公社、ソニーネットワークコミュニケーションズを経て2018年に韓国コンテンツ振興院日本ビジネスセンターセンター長就任。2023年より現職。著書に『韓国コンテンツのグローバル戦略：韓流ドラマ・K-POP・ウェブトゥーンの未来地図』ほか。



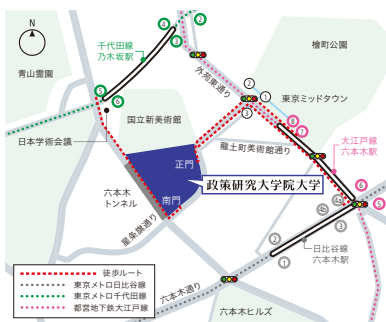
村山 卓（むらやま たかし）
金沢市長

総務省、岩手県、愛媛県、仙台市、川崎市、香川大学等での勤務を経て、2022年3月に金沢市長に就任。2023年12月に都市像「未来を拓く世界の共創文化都市・金沢」を策定。金沢 JAZZ STREETやアカペラ・タウンなどの音楽イベントを多数開催するほか、自らも石川県内で開催される音楽祭などでフルートを演奏する。



大田 弘子（おおた ひろこ）
政策研究大学院大学 学長

専門分野は経済政策・財政政策。1997年に政策研究大学院大学助教授として着任後2002年に内閣府へ出向し、内閣府参事官・大臣官房審議官・政策統括官として勤務。その後、内閣府特命担当大臣（経済財政政策担当）を務め、2008年に政策研究大学院大学教授に復帰。2022年に学長に就任。2024年旭日重光章受章。



アクセス

東京都港区六本木7-22-1
国立大学法人 政策研究大学院大学

お問い合わせ

政策連携課 シンポジウム担当
メール sympo_cul@grips.ac.jp

